

先進医療 B で行われた腹腔内投与化学療法のとめ（令和4年10月1日現在）

凡例

先進医療技術名/UMIN、jRCT 登録番号（jRCT を優先）						
適応症	申請医療機関	適用日	告示削除日	総括報告書 回および資料番号	相, 登録症例数/ 目標症例数	主要評価項目、 有意差の有無

注意事項：

本資料は公開資料に基づく、研究目的の客観的なデータ集である。結果の解釈については、臨床研究の相、症例数、主要評価項目、有意差の有無を含め総合的に判定されており、表にある総括報告書の該当審議回と資料を参照すること。

お問い合わせ先：厚生労働省医政局研究開発政策課 03-5253-1111（代表）

パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びに S - 1 内服併用療法/UMIN000005930						
腹膜播種又は進行性胃がん (腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	東京大学医学部附属病院	H21.12.1	H21.12.1	第 63 回 資料 2-1	III,169/180	全生存期間、 有意な差なし
パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法/jRCTs031180141						
上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	埼玉医科大学国際医療センター	H22.5.1	R4.4.1	第 139 回 資料 2-1	II/III,654/655	無増悪生存期間、 有意な差あり
パクリタキセル腹腔内反復投与療法/-						
胃切除後の進行性胃がん（腹膜に転移しているもの、腹腔洗浄細胞診が陽性であるもの又はステージ II 若しくは III であって肉眼型分類が 3 型（長径が八センチメートル以上のものに限る。）若しくは 4 型であるものに限る。）	名古屋大学医学部附属病院	H22.7.1	H27.5.1	-	-	-

S-1 内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法/UMIN000012834						
腹膜播種を伴う初発の胃がん	東京大学医学部附属病院	H26.5.1	H29.5.1	第 63 回 資料 2-4	*II,60/50	1 年全生存割合, 有意な差なし
術前の TS-1 内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法/UMIN000013109						
根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん（洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る。）	近畿大学医学部附属病院	H26.8.1	R1.6.1	第 87 回 資料 3-1	-,51/50	治療完遂率、安全性の検討で安全であると判断
腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中のマイトマイシン C 腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル腹腔内投与の併用療法/jRCTs031180254						
腹膜偽粘液腫（画像検査により肝転移及びリンパ節転移が認められないものであって、放射線治療を行っていないものに限る。）	国立国際医療研究センター病院	H26.11.1	R4.6.1			未
カペシタビン内服投与、シスプラチン静脈内投与及びドセタキセル腹腔内投与の併用療法/UMIN000016469						
腹膜播種を伴う初発の胃がん	東京大学医学部附属病院	H27.4.1	H29.6.1	第 67 回 資料 2-1	*II,50/50	1 年生存割合、同程度

mFOLFOX6 及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法/UMIN000019206						
胃がん（腺がん及び腹膜播種であると確認されたものであって、抗悪性腫瘍剤の経口投与では治療が困難なものに限る。）	東京大学医学部附属病院	H28.1.1	H30.4.1	第 77 回 資料 1-1	*I/II,36/34	1 年全生存割合、有意な差あり
S - 1 内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療/jRCTs041180079						
腹膜播種を伴う初発の胃がん	名古屋大学医学部附属病院	H29.4.1	R4.8.1	第 137 回 資料 2-1	II,50/53	1 年全生存割合、有意な差あり

* . . . UMIN,jRCT など他の公開情報から引用
有意な差の有無は、評価表の記載から判断。

-とあるものについては、先進医療技術審査部会の公開資料からは読み取れない項目